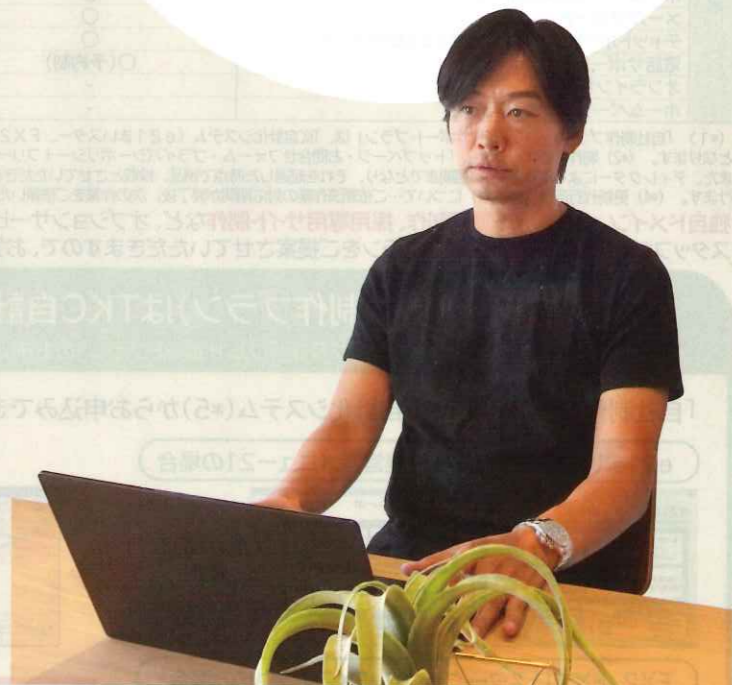


◎クオーレ  
人材の力を武器に  
成長しつづける  
「ライフサポートカンパニー」

幅広い整理、回収ニーズに  
ワンストップで対応



竹本泰志社長

るだけでは、若い人たちから応募は来ません。パーパスやビジョンを明示し、経営姿勢を発信する必要があります」

心を、環境を、ポジティブに。同社の公式サイトに「企業理念、ベリジを開くと、こんな文言が目にとまる。あらゆる人々の生活を支援する活動が地球環境を守ることにつながる」。そんな思いを端的に示した「パーパス（存在意義）」である。また、ビジョンと五つの提供価値を列挙し、自社を「ライフサポートカンパニー」と定義づけている。

3・11に会社を立ち上げる

もともと社会に早く出たいとの意思を持っていた竹本氏が働きはじめたのは16歳のとき。漁師やとび職、中古車販売店勤務などを経て、知り合いの不用品回収業を手伝うようになる。仕事のやりがいを感じ、11年に地元愛知県での起業を決意。会社を設立したのは、くしくも震災と同じ日だった。

「その日は鮮明に覚えています。午前中、法務局に行き、会社の設立登記を済ませたあと、愛知県内のお客さまの自宅を不

遺

品整理や生前整理、中古品の買い取り事業を展開しているクオーレ。故人が所有していた物品を依頼者の手元に残すものと不用品ものに分類し、不用品を買い取り回収するのが遺品整理の内容だ。遺品整理の対応件数は、足元で年間3000件を突破。業界の草分けとして増収を続け、2024年2月期の売上高は30億円にせまる。

成長の原動力となっているの

は「人材の力」と、竹本泰志社長は強調する。

「整理、リユース品買い取り業界において、サービス内容で他社との違いを打ち出すのはむずかしいのが実情です。まじめで誠実な社員をいかに多く獲得して養成できるかが、差別化を図る上でカギとなると考えています。当社では、お客さまの家に上がって作業するのは、新卒者を中心とした正社員にかぎっています」

遺品、生前整理の現場は、家財道具の搬出など体力を求められる場面が少なくない。若者が敬遠しがちな肉体労働をともなう業種ながら、近年は新卒社員をコンスタントに採用しているという。

「コロナ禍の就職難をきっかけに新卒者の採用活動に取り組み、毎年20〜30名ほどの新卒生が入社しています。われわれの仕事は社会貢献性が高いとはいえ、求人サイトに募集告知を掲載す

用品回収の相談を受けていました。東北、関東で地震が発生したのは、庭で物置の撤去作業を行っていたとき。仕事を終え帰宅後、ニュースを見て初めて大

きな地震が起こったことを知りました」

屋外にいたため、揺れにまったく気づかなかつた竹本氏。被害規模の大きさに動揺しつつも、

こんなことを実感したという。「当時は不用品回収をなりわいにしていましたから、使命感のようなものを覚えました。整理、回収業は、これから間違いなく

必要とされると」

顧客の要望に応じていくうちに、整理事業のなかでも遺品整理に手ごたえと可能性を感じるようになっていった。目下、単身高齢世帯の増加や環境意識の高まりを背景に、遺品整理のニーズは高まっており、市場規模の一層の拡大が見込まれる。それだけに新規参入が相次ぐ業界だが、竹本社長はこんなアドバイスをする。

「遺品整理サービスを初めて利用する場合、検索サイトで事前に企業の口コミを調べることがおすすめです。ときどき高額な料金を吹っかける悪徳業者が現れますが、そうした業者のユーザーからの評価は総じて低く、悪い口コミが投稿されているも



株式会社クオーレ

業種 整理、不用品回収業  
設立 2011年3月  
所在地 愛知県大府市柘山町 8-53-2  
売上高 28億円  
従業員数 160名



新刊案内

マネジメントのリスキリング

ジョブ・アサインメント技法を習得し、  
他者を通じて業績を上げる

日本企業は今、従来のマネジメントのあり方の変革とあわせて、マネジャーのマネジメントスキルの再開発・再教育が喫緊の課題となっています。本書は、マネジメントの基本技術である32の「ジョブ・アサインメント」(日常のマネジメント行動)の解説を中核に、マネジメントのポイントテーマ別に整理し、ジョブ・アサインメントの各項目とつないで詳しく説明しています。マネジメント研修のサブテキストとして最適の1冊です。

マネジメント  
の  
リスキリング

ジョブ・アサインメント技法を習得し、  
他者を通じて業績を上げる



大久保幸夫

大久保 幸夫 著  
A5判 256頁  
定価2750円(税込)

経団連出版  
経団連事業サービス

東京都千代田区大手町1-3-2 TEL 03-6741-0043

お求めは書店または法人ホームページまで



新卒者を対象とする集合研修を実施



大府市にある本社

## 研修ハウスで技能を学ぶ

千葉県南房総市。ここにかつて歯科医院だった建物を改装した同社の「研修ハウス」がある。研修ハウスは整理、不用品回収

のです。口コミを確認した上で、複数社から相見積もりをとる。このプロセスが大切です」  
クオーレでは一般個人が顧客の大半を占め、広告等を見てウェブサイトから問い合わせが入るケースがほとんど。提携する不動産会社や葬祭事業者、税理士などから個人宅の整理を依頼されることもある。

サービス利用客の一軒家を横した研修施設。新卒社員が整理業務を手がけるにあたり、技能を学ぶ場として開設した。新入社員は作業のシミュレーションをとおして技術を習得し、社会人として求められる心構えも身につける。

「遺品、生前整理の現場では、家具を傷つけないように運んで階段を下りたり、ベランダから大型家具や家電をつるして降ろしたり、さまざまな技能が求められます。OJTももちろん大切ですが、新入社員向けの集合研修は仕事の基礎を学び、業務

にあたる前のウォーミングアップの場として役立っています」  
合宿形式の研修の最後には、技術面をチェックする検定試験を実施し、検定をパスした社員のみが整理業務に携わっている。

## アースサポートカンパニーへ

「いずれ世の中から不用品がなくなり、われわれの仕事も消失する日が来るのではないかと、長年思っていました」と打ち明ける竹本社長。そうした懸念は杞憂に終わりそうだ。フリーマーケットアプリ運営会社が昨年12月に公表した試算によると、

日本国内の家庭で使用されずに保管されている不用品は、約66兆円にのぼるといふ。不用品の整理、回収ニーズはまだ尽きそうにない。こうした状況を鑑み、竹本社長が注力しているのが「アースサポートカンパニー」への進化である。

「モノを大切にすることは、地球環境保護につながります。回収した不用品をリサイクルして、価値ある製品としてよみがえらせることができれば、当社はもちろん業界全体の存在価値を引き上げられるはずです」

ゼロエミッションにつながる施設を立ち上げ、資源を循環させる仕組みを構築し、リユースとリサイクルを活動の両輪として、家庭から出るごみをゼロにするのが究極の目標だ。日常生活における整理、回収にまつわる困りごとをワンストップで解決するサービスを提供してきたクオーレ。竹本社長は「整理、回収業界のスタンダードを確立し、10年後には回収したものを再利用することが当たり前になっている世界をつくりたい」と将来を見据える。

取材協力：税理士法人名北会計／本誌・小林淳二

